

◎農林水産部長(廣田大作君) 米粉の振興についてであります。米粉用米の生産は、休耕田等を活用した農家所得の確保や食糧自給率の向上に大変有効であり、県としても重点的に取り組むこととしております。

このため、まず、休耕田への米粉用米の作付を推進するため、国の助成金とあわせて、生産経費全額を補てんできるように、全国に先駆けて、県独自の10アール当たり2万4,000円の直接助成を行うこととしております。

また、米粉処理加工の拠点として、西日本で初めてとなる本格的な製粉施設の整備について支援するとともに、米粉用米の円滑な需給調整を図るため、農業団体、製粉会社、行政等から成る協議会を設置してまいります。

さらに、米粉の需要開拓を進めるため、パンやケーキなどを製造する業者向けの県オリジナル商品のレシピ開発やアドバイザー派遣を行うとともに、販売店が連携したPR活動やインターネットによる情報提供等を通じて、米粉食品の積極的な普及を図ってまいります。

このような生産から流通、販売までの総合的な取り組みにより、全国の米粉ビジネスモデルとなるよう、米粉の振興に努めてまいりたいと考えております。

〔淵上陽一君登壇〕